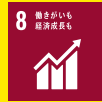




エス ディー ジーズ



第21回

沖縄県はSDGsを推進します!



上: 県指定無形文化財「沖縄の空手・古武術」保持者・喜久川政成氏(手前)による剛柔流の実技演習(沖縄空手会館道場)
下: 沖縄空手ガイド養成事業流派研究(座学)の様相(沖縄空手会館研修室)

「空手発祥の地・沖縄」の発信拠点



沖縄空手会館は、沖縄が世界に誇る伝統文化である空手を保存・継承・発展させ、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に発信するために県が整備し、2017年3月4日から供用開始しました。那覇市街を望むかつての豊見城グスクの高台に、敷地面積3.8haに道場棟、展示棟、特別道場の3つの建物が建っています。コロナ禍前の2019年度には世界から97カ国、延べ利用者数が28万3千人を数えました。また、2021年3月には博物館相当施設になり、空手に関する資料収集・調査研究・展示・教育普及と、沖縄空手をテーマとしたミュージアムとしての社会教育機関の機能も担っています。



世界の空手愛好家の「沖縄空手」

理解促進のためのガイド育成

地域文化を超えて親しまれている空手

琉球王国時代、士族のたしなみとして師弟間で継承されてきた「手」が、明治時代以降の近代化の中で「唐手(空手)」として学校教育を通して爆発的に普及しました。また戦後には、沖縄に駐留する米兵たちを通して米国等へ普及しました。

本県には先人から継承されてきた豊

かな芸能や工芸文化があり国内屈指の無形文化財の宝庫ですが、その中でも空手は、多くの外国人に親しまれてきました。今日、空手は世界199の国・地域に1億3千万人の愛好家を数えます。空手が近代以降百年余の歴史の中で、世界に伝播・普及していった理由には、空手にもつ特有の型に秘められた精緻な技の探求と礼節を重んじ平和を尊ぶ精神にあります。その奥深さこそが世界の人々を魅了してやみません。

聖地・沖縄空手ガイド養成事業

県では沖縄空手の拠点を担う人材育成の一環で、「聖地・沖縄空手ガイド養成事業」を2021年度から開始しました。この事業では今後空手ツーリズム等で来訪する海外の空手愛好家に対して、沖縄空手の技や心をはじめ、沖縄空手の4つの流派「首里・泊手(小林流、少林流、松林流、少林寺流等)、那覇手(剛柔流)、上地流、古武術」の違いや各流派の歴史や文化、空手家のゆかりの地などを外国語で説明することができる人材を育成します。ガイド養成では80時間の座学、実技などの講座を受講することで空手に関する総合的な知識を得ることが出来ます。育成されたガイドは、空手道場及び観光産業等での活躍が大いに期待されます。

問い合わせ

空手振興課 電話: 098-866-2232 FAX: 098-866-2208

安全安心に過ごすために
うつらない うつさない

行動を

新型コロナウイルス感染症
コールセンター
☎098-866-2129